



## ロイノート・スクールの活用③

～特別活動におけるティーム・ティーチング～

子どもたちは、ゲスト・ティーチャー（養護教諭）から、自分でできるけがの手当について、実践できるよう指導を受けました。

また、シンキングツールを活用して授業についての研究協議を行いました。

- けがの手当について学び、けがの事例を見て、手当の仕方を考えました。



- 分かったことやこれから気を付けたいことについて、ロイノート・スクールを活用して、学級全体で共有しました。



- 研究協議では、シンキングツールを活用して、協議を深めました。



詳細をお知りになりたい方は、ぜひ、本校までお問い合わせください。



教職員は、様々なシンキングツールの使い方について、研究協議を通して学んでいます。